

令和7年11月7日

予算決算文教厚生分科会 会長報告

本分科会に分担された案件は、次の通り、議案8件です。

件名		表決の状況
議案第62号	令和7年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第3号) 〔歳入、歳出の民生費・衛生費・教育費〕	原案可決
議案第63号	令和7年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第64号	令和7年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第65号	令和7年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第68号	令和6年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について 〔歳入、歳出の民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	認定
議案第69号	令和6年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第70号	令和6年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

議案第 71 号	令和 6 年度埼玉県和光市介護保険特別 会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
----------	--	------

【本日の報告】

本日は、予算決算文教厚生分科会に分担された議案のうち、令和6年度の決算審査の中から質疑と答弁をいくつか御紹介して、分科会長報告とさせていただきます。

●議案第68号 令和6年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 育児相談支援における障害福祉相談員の就労支援について、令和6年度において、就労に結びついた人数の実人数を伺う。

答弁 令和6年度の就職者数は40名です。

質問 就労後のフォローアップ体制について、就職後の定着支援や退職者へのフォローアップはどのように行っているのか伺う。

答弁 退職された場合でも、本人の意思があれば就労生活支援センターや障害福祉課の相談支援員が定期的にフォローアップを実施しています。

質問 民生児童委員の充足率の低さによる地域活動への影響について、充足率が低い状況が続いているが、地域活動に支障は出ていないか伺う。

答弁 第4地区では欠員が多いが、協議会の会長が担当し、チームで対応しているため、支障は出ていないとの認識です。

質問 生活困窮者自立促進支援における一般財源比率の増加理由について、令和6年度に一般財源の比率が高まった理由を伺う。

答弁 自立相談支援事業の補助率が3分の2から2分の1に変更されたた

め、一般財源の負担が増加しました。

●議案第69号 令和6年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 不納欠損の理由と内訳について伺う。

答弁 答弁：滞納者の収入状況や資産状況を勘案し、納付能力がないと判断された場合に不納欠損となる。資産がほとんどなく、今後の収入の見込みも立たない方が対象です。

質問 マイナ保険証の利用実績が目標に達していないが、今後どのように対応していくのか伺う。

答弁 昨年度は祭りなどのイベントで周知活動を行ったが、目標には届いていません。今後も国の制度周知と連携しながら、さらなる普及に努めていく方針です。

●議案第70号 令和6年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 令和6年度の後期高齢者医療保険料の歳入額が前年度に比べて増加しているが、その主な要因を伺う。

答弁 令和5年度から令和6年度にかけて保険料の改定があり、均等割など一人当たりの負担額が増額されたことが一因です。加えて、団塊の世代の高齢化により対象者数が増加したことも歳入増の要因となっています

●議案第71号 令和6年度埼玉県和光市介護保険特別会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 認定調査件数が増加傾向にある中で、調査員の確保が困難になっているとあるが、現在の体制と今後の見通しはどうか伺う。

答弁 令和6年度に調査員を1名増員し、現在は会計年度任用職員の認定調査員が3名体制で対応しています。今後も増加する調査件数に対応できるよう体制整備を進めていきます。

以上、御報告致しましたが、審査の主な内容については、分科会記録を御参照ください。